

地域別公共交通の再編の方向性（柿崎区）

1 各路線の評価

(1) 路線の存続・運行主体の方向性（収支状況）

No.	路線	区分	収支等の状況(H30決算)										再編の考え方①	
			経常費用(千円)	経常収益(千円)	経常欠損(千円)	収支率	国県補助(千円)	市補助(千円)	年間利用者数(人)	市補助/利用者1人(円)	1便当たり利用者数(人)	平均乗車密度	区分	内容
1	浜線	支線	13,680	1,160	12,521	8.5%	6,134	6,386	6,813	937	1.4	0.3	II 運行形態の転換等	・乗合タクシー、市営バス等の運行形態への転換を検討
2	柿崎黒岩線	支線	8,127	652	7,474	8.0%	1,447	6,026	2,388	2,523	0.8	0.3 0.9	I 路線廃止	・利用者が少ないことから、廃止を検討
3	柿崎上直海線	支線	18	4	15	20.9%	0	14	18	778	0.0	1.5	I 路線廃止	・利用者が少ないことから、廃止を検討
4	柿崎・森本線	支線	7,549	288	7,261	3.8%	0	7,261	2,091	3,473	1.1	0.2	II 運行形態の転換等	・利用が少ない区間の廃止を検討
5	柿崎水野線	支線	3,653	187	3,466	5.1%	0	3,466	616	5,627	0.4	0.3	I 路線廃止	・利用者が少ないことから、廃止を検討
合計			33,028	2,291	30,737	6.9%	7,581	23,153	11,926	1,941	1.0	-		

(2) サービス（運行経路、ダイヤ等）の見直しの視点

■利用の実態

No.	路線	利用の傾向(乗降調査)	利用の特徴(乗降調査)	再編の考え方②	
				区分	内容
1	浜線	A-I	・朝・昼の区内への通院が主 ・朝、夕は利用少	・利用が少ない時間帯のダイヤ変更、利用喚起	・利用の少ない時間帯の減便、ダイヤ変更による利便性向上と効率性の向上を検討
2	柿崎黒岩線	A-I	・朝・昼は区内への通院が主 ・朝1便目の利用がない	・利用が少ない時間帯のダイヤ変更・利用喚起、減便	・朝1便目の利用が全くないことから、減便を検討
3	柿崎上直海線	C	・利用がほとんどない(年間18人)	・廃止	・利用がないため、廃止を検討
4	柿崎・森本線	C-A	・午前が高齢者の利用あり ・明治小学校の児童が下校時に利用	・ダイヤ変更、減便	・利用が少ない区間の廃止を検討
5	柿崎水野線	C-A	・朝は通勤利用1人 ・他の便はほとんど利用なし	・利用の少ない目的のためのダイヤ変更、利用喚起	・朝1便以外の利用が少ないことから、減便を検討

■地域住民の意見

No.	路線	地域住民の意見		再編の考え方③
		利用者の意見(乗降調査)	住民の意見(聞き取り調査)	
1	浜線	直江津まで直通、乗継の要望(10人/36人中)	・カルテ調査で増便の要望あり(2町内会)	・運行形態の転換を図りつつ、便数、ダイヤの変更を検討 ・ダイヤ変更により乗継負担軽減を検討
2	柿崎黒岩線	意見なし(0人/30人)	・カルテ調査で土日運行の要望が2町内会、乗合タクシー導入の要望2町内会	・土日運行、乗合タクシー導入の意見があるが、利用が見込まれないため廃止を検討
3	柿崎上直海線	利用者0人	・アンケートで「バスを利用したいが利用できない」と回答している人のうち、柿崎病院開院に合わせて運行してほしいという要望あり(1人/9人)	・利用がほとんどなく、意見も少ないことから廃止を検討
4	柿崎・森本線	意見なし(0人/9人)	-	・利用が少なく、意見も少ないことから減便等の縮小を検討
5	柿崎水野線	意見なし(0人/3人)	・土日運行、乗合タクシー導入の要望が各2町内会 ・サロン参加者3人中1人がくろかわ診療所までの定時運行を要望	・土日運行、乗合タクシー導入、くろかわ診療所まで定時運行の意見があるが、利用が見込まれないため廃止を検討

2 区全体の状況

■65歳以上の高齢者の移動先（参考）地域の送迎サービス

	通院目的	買物目的
1位	区内49.4%	区内61.2%
2位	イオン・上越病院周辺 26.5%	イオン・上越病院周辺 21.2%
3位	中央病院周辺 13.5%	大潟区10.6%

※パーセンテージは、当該行先を回答した町内会の割合

No.	名称	運行主体	区間	運行日
1	スクールバス	市	柿崎・下黒川小学校、柿崎中学校区	平日
2	サロン送迎	柿崎まちづくり振興会	柿崎区内～〇〇	週3回(月、水、金)
3	出前サロン送迎	柿崎まちづくり振興会	第七区、七ヶ地区、下黒川地区、黒川・黒岩地区	月1回
4	認知症カフェ	柿崎まちづくり振興会	柿崎区内全域	月1回

■高校生アンケート

ダイヤ	・休日にバスを利用したいが、運行しておらず利用できない。(1人)
運賃	・冬期に電車が運休した際に路線バスを利用したいが、運賃が高く利用できない。(1人)
鉄道	・柿崎ー高田間の電車の本数を増やしてほしい。直江津駅で何時間も待つのがつらい等本数に関する意見。(3人) ・電車の運賃が高すぎる。(1人)

■聞き取り調査の状況

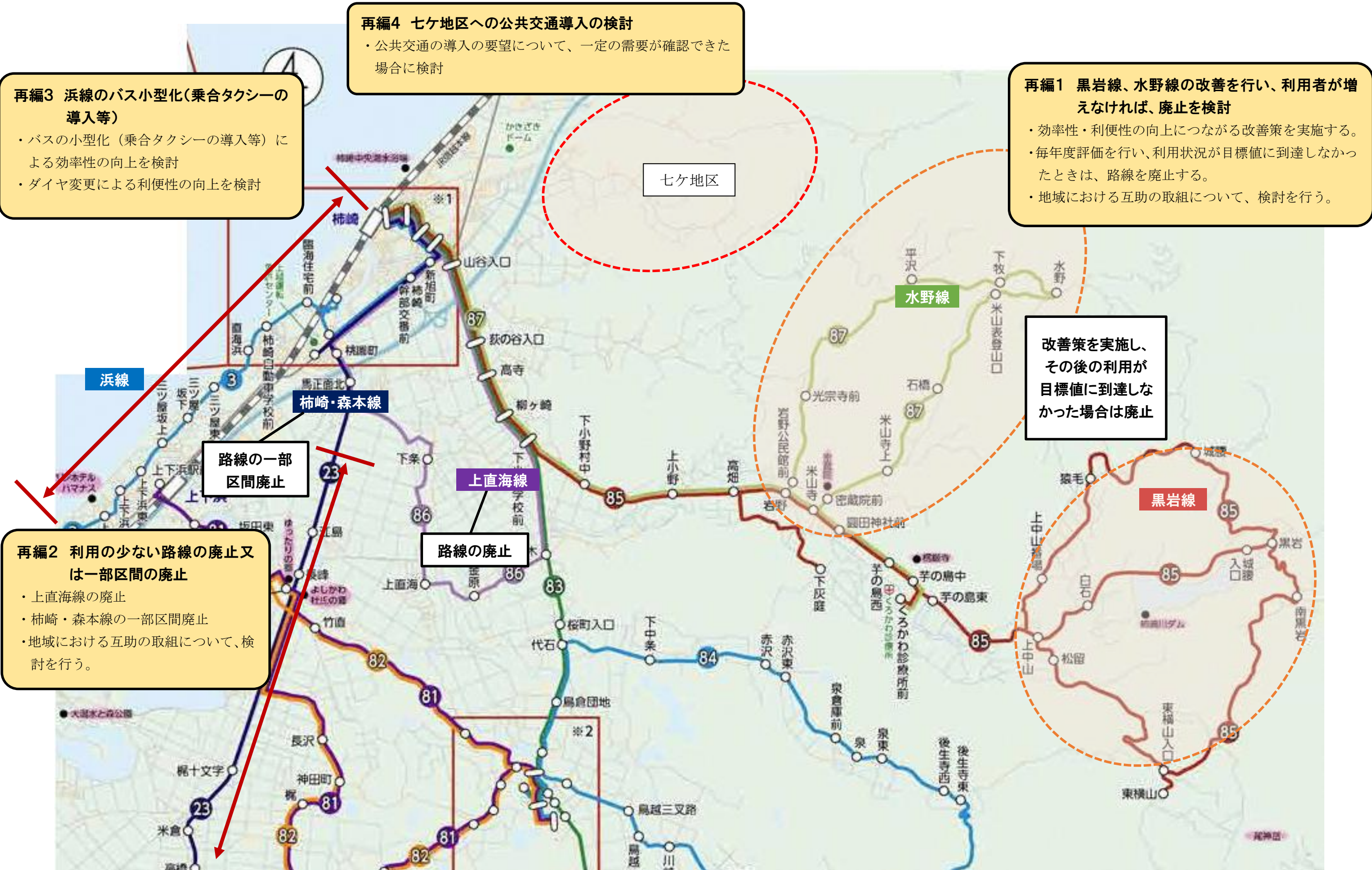
実施内容	実施状況	結果
町内会長への聞き取り	57人	・9割強が自家用車を主な移動手段としている。 ・既存の改善意見はあるが困っているほどではない。 ・沿線(浜線、黒岩線、水野線)では運行継続の希望が多数、土日運行の要望が2町内会(黒岩線)、沿線以外では要望が少ない傾向。
サロンでの聞き取り	14人	・14人中、移動手段は自家用車と送迎が合わせて7割強 ・10人が困っていると回答し、6人は免許返納後の移動手段がない、1人はバス停まで歩けないと回答 ・困っていると回答した10人のうち7人が空白地(七ヶ地区)の住民であり、デマンドバス、乗合タクシーを要望する意見があった。
免許返納者への聞き取り	27人	・約5割が家族、近所の送迎、3割はタクシーで移動 ・10人が困っていると回答しており、バスと鉄道の接続、増便等の意見があった。
沿線地区アンケート(水野線、黒岩線、上直海線)	501人	・8割がバスを「利用していない」と回答、うち9割が「他に移動手段があるから」と回答 ・18人が「利用したいが利用できない」と回答、うち約半数が「運行時間が合わないから」と回答 ・ダイヤ改善、米山寺まで定時運行、水野線の便数増等の要望あり
合計	599人	-

3 再編の方向性（案）

No.	路線名	区分	再編の方向性
1	浜線	支線	・乗合タクシー、市営バス等への転換、減便を検討し、効率性を向上 ・ダイヤ変更による利便性の向上を検討
2	柿崎黒岩線	支線	・ダイヤの見直しなどを行い、利用者が増えなければ、廃止を検討
3	柿崎上直海線	支線	・廃止を検討
4	柿崎・森本線	支線	・利用が少なく利用者にも偏りがあることから、利用の少ない区間の廃止、減便等の縮小を検討
5	柿崎水野線	支線	・ダイヤの見直しなどを行い、利用者が増えなければ、廃止を検討
6	七ヶ地区	空白地	・サロンでの聞き取りから、乗合タクシー、市営バス等の公共交通の導入の要望があるが、需要が確認できた場合に検討

※幹線と支線の乗換拠点は柿崎バスターミナル

地域別公共交通の再編の方向性（柿崎区）



地域別公共交通の再編の方向性（大潟区）

1 各路線の評価

(1) 路線の存続・運行主体の方向性（収支状況）

No.	路線	区分	収支等の状況(H30決算)										再編の考え方①	
			経常費用(千円)	経常収益(千円)	経常欠損(千円)	収支率	国県補助(千円)	市補助(千円)	年間利用者数(人)	市補助利用者1人(円)	1便当たり利用者数(人)	平均乗車密度	区分	内容
1	浜線	支線	13,680	1,160	12,521	8.5%	6,134	6,386	6,813	937	1.4	0.3	Ⅱ運行形態の転換	・乗合タクシー、市営バス等の運行形態への転換を検討
2	柿崎・森本線	支線	7,549	288	7,261	3.8%	0	7,261	2,091	3,473	1.1	0.2	Ⅱ運行形態の転換等	・利用が少ない区間の廃止を検討
3	上越大通り線(1)	幹線	86,607	29,267	57,340	33.8%	38,051	19,289	220,253	88	21.6	2.1	Ⅳ現状維持	・現状維持
合計			107,837	30,715	77,122	28.5%	44,185	32,936	229,157	144	13.5	-		

(2) サービス（運行経路、ダイヤ等）の見直しの視点

■利用の実態

No.	路線	利用の傾向(乗降調査)	利用の特徴(乗降調査)	再編の考え方②	
				区分	内容
1	浜線	A-イ	朝、昼は柿崎区への通院が主	利用が少ない時間帯のダイヤ変更	・利用の少ない時間帯の減便、ダイヤ変更による利便性向上と効率性の向上を検討
2	柿崎・森本線	C-ア	・午前は高齢者の利用あり ・明治小学校の児童が下校時に利用	・ダイヤ変更、減便	・利用が少ない区間の廃止を検討
3	上越大通り線(1)	D-イ	・朝、夕は大潟町小の児童が通学で利用 ・昼は直江津方面への通院、買物が主	・更なる利便性の向上	・利用に偏りがなく、増便等の利便性向上を検討

■地域住民の意見

No.	路線	利用者の意見(乗降調査)	住民の意見(聞き取り調査)	再編の考え方③
1	浜線	直江津まで直通、乗継の要望(10人/36人中)	・柿崎まで直通化の意見が22町内会中3町内会(会長等の聞き取り) ・サロン7か所中1か所で、上越大通り線、浜線の直通化の要望	・運行形態の転換を図りつつ、便数、ダイヤの変更を検討 ・ダイヤ変更により乗継負担軽減を検討
2	柿崎・森本線	意見なし(0人/9人)	-	・利用が少なく、意見も少ないことから減便等の縮小を検討
3	上越大通り線(1)	増便が14人、バス・鉄道との接続、運賃の要望が各4人(1229人中)	・民生委員17人中2人が総合病院(上越総合病院、中央病院)への直通を希望 ・柿崎まで直通化の意見が3町内会(町内会長) ・サロン7か所中1か所で、上越大通り線、浜線の直通化の要望	・ダイヤ、便数等の改善を図り利便性向上、乗継負担軽減を検討する

2 区全体の状況

■65歳以上の高齢者の移動先

	通院目的	買物目的
1位	区内 42.4%	区内 45.0%
2位	イオン・上越病院周辺 28.8%	イオン・上越病院周辺、夷浜周辺 20.0%
3位	直江津駅周辺、中央病院周辺 10.2%	直江津駅周辺 10.0%

※パーセンテージは、当該行先を回答した町内会の割合

(参考) 地域の送迎サービス

No.	名称	運行主体	区間	運行日
1	スクールバス	市	南大潟地区(大潟町小学校区)	平日
2	サロン送迎	まちづくり大潟	南大潟地区～やすらぎの家(九戸浜)	月1回

■高校生アンケート

本数	・本数を増やしてほしい。(2人) ・通学バスを出してほしい。(1人)
運賃	・運賃が高い。(2人)
鉄道	・お昼(12時～17時)の電車の本数が少ない。(3人) ・混んでいる時間帯(16時以降等)の車両を増やしてほしい。(3人) ・ダイヤ改善の意見。(2人)

■聞き取り調査の状況

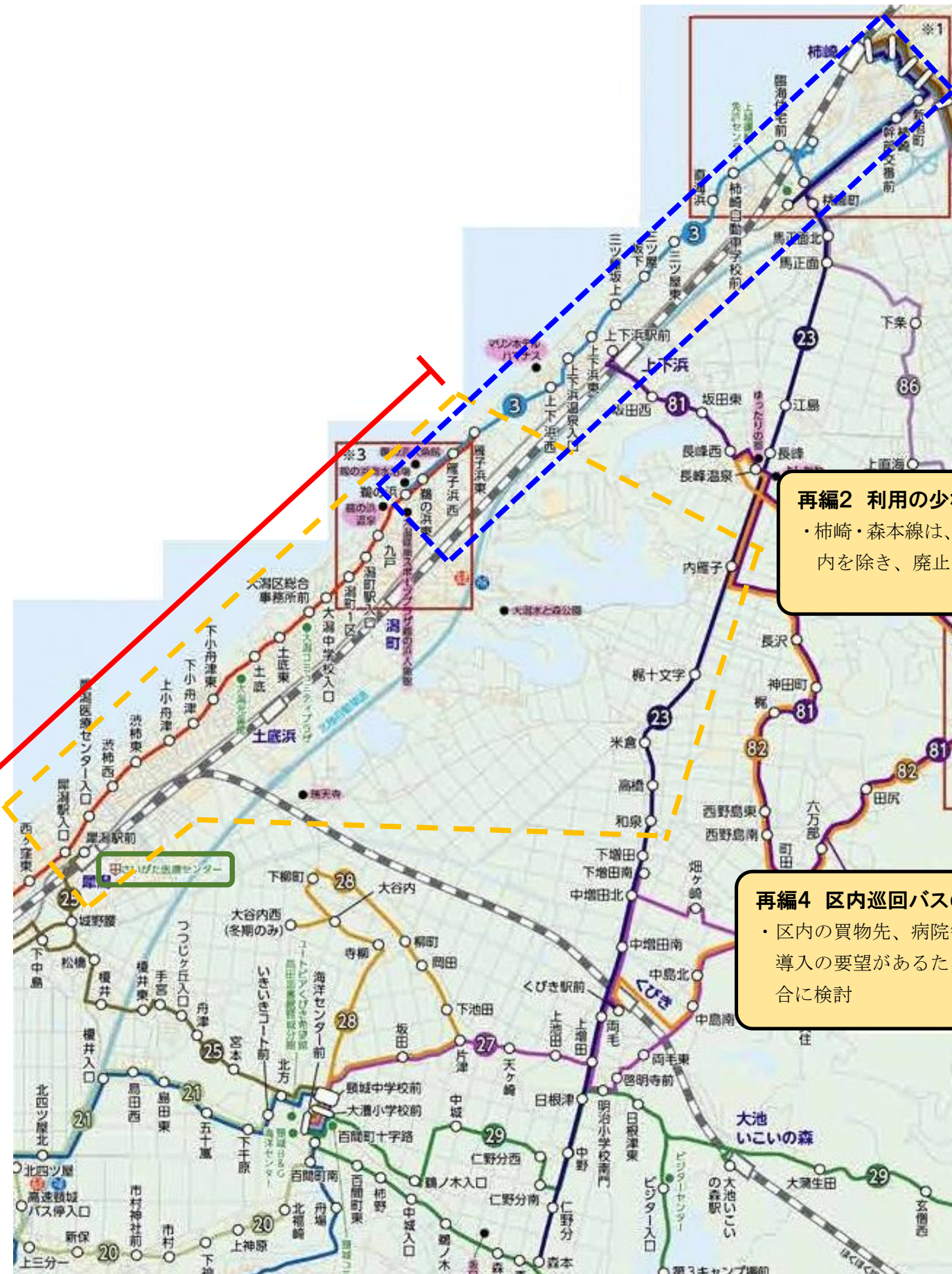
実施内容	実施状況	結果
町内会長への聞き取り	22人	・上越大通り線、浜線の直通化の要望あり(3町内会) ・空白地からの意見はほとんどなし
民生委員への聞き取り	18人	・運転できない人のほとんどが送迎又はタクシーで移動(16人/18人) ・現在困っているという意見はないが、4人から、将来的に行先(区内)や曜日を限定した運行を導入してほしいとの意見があった
サロンでの聞き取り	151人	・参加者の3割弱は自分で運転、4割は送迎で移動 ・現在困っているという意見はないが、上越大通り線～浜線の乗換が不便、病院や買い物先等区内を循環するバス(大潟区の南部～区内)の要望あり
免許返納者への聞き取り	58人	・約8割が家族、近所の送迎で移動 ・15人が困っていると回答しており、病院までの乗継が困難、運賃助成等の意見があった
合計	249人	-

3 再編の方向性（案）

No.	路線名	区分	再編の方向性
1	浜線	支線	・乗合タクシー、市営バス等への転換、減便を検討し、効率性を向上 ・ダイヤ変更による利便性の向上を検討
2	柿崎・森本線	支線	・利用が少なく利用者にも偏りがあることから、利用の少ない区間の廃止、減便等の縮小を検討
3	上越大通り線(1)	幹線	・増便等の利便性の向上、ダイヤ改善による乗継負担の軽減を検討
4	大潟区の南部ほか	空白地	・巡回バス導入の要望があり、需要が確認できた場合に検討

※幹線と支線の乗換拠点は鶉の浜

地域別公共交通の再編の方向性（大潟区）



再編1 浜線への車両小型化(乗合タクシー)等の導入

- ・車両の小型化（乗合タクシー）等の導入による効率性の向上を検討
- ・ダイヤ変更による利便性の向上を検討

再編2 利用の少ない区間の廃止

- ・柿崎・森本線は、利用のある頸城区内を除き、廃止

再編3 上越大通り線のダイヤ改善、増便等による利便性向上の検討

- ・ダイヤ改善、増便等による利便性の向上を検討

再編4 区内巡回バスの導入の検討

- ・区内の買物先、病院等を巡回する公共交通の導入の要望があるため、需要が確認できた場合に検討

地域別公共交通の再編の方向性（頸城区）

1 各路線の評価

(1) 路線の存続・運行主体の方向性（収支状況）

No.	路線	区分	収支等の状況(H30決算)										再編の考え方①	
			経常費用 (千円)	経常収益 (千円)	経常欠損 (千円)	収支率	国県補助 (千円)	市補助 (千円)	年間利用 者数 (人)	市補助/ 利用者1 人(円)	1便当たり 利用者数 (人)	平均乗 車密度	区分	内容
1	南川線	幹線	23,212	8,930	14,282	38.5%	4,302	7,333	59,073	124	9.6	1.7 2.0	IV現状維持	・「現状維持」であるが、黒井駅線との重複があるため、重複の解消を検討
2	黒井駅線	支線	12,361	2,891	9,470	23.4%	1,736	7,733	35,928	215	21.2	1.0	IV現状維持	・現行のバスによる運行を維持しつつ、利便性の向上を検討
3	犀潟駅線	支線	7,554	3,007	4,548	39.8%	853	3,694	47,543	78	14.0	2.3	IV現状維持	
4	柳町線	支線	4,251	1,458	2,794	34.3%	576	2,217	23,546	94	16.2	1.9	IV現状維持	
5	くびき駅線	支線	8,577	1,266	7,311	14.8%	0	7,311	16,266	449	9.6	1.2	IV現状維持	
6	市営バス (大池線)	支線	25,183	9	25,174	0.0%	0	25,174	10,409	2,418	7.2	-	IV現状維持	・現行のスクール混乗による運行を維持しつつ、利便性の向上を検討
7	森本線	支線	7,549	288	7,261	3.8%	0	7,261	2,091	3,473	1.1	0.2	II運行形態 の転換等	・利用者が少ないことから、廃止を検討
合計			88,689	17,849	70,840	20.1%	7,467	60,723	194,856	312	11.0	-		

(2) サービス（運行経路、ダイヤ等）の見直しの視点

■利用の実態

No.	路線	利用の特徴 (乗降調査)	区分
1	南川線	・朝夕は通学利用が主 ・夕の直江津方面行、朝の頸城方面行、頸城区内の一部は利用少	・利用が少ない時間帯のダイヤ変更・利用喚起
2	黒井駅線	・朝夕は通学利用が主 ・昼は利用少 ・くびき駅線は中増田北一明治小学校南門、大池線は森本東一明治小学校南門間に利用が限定 ・黒井駅線は一部時間帯に利用のない区間あり	・利用が少ない時間帯のダイヤ変更、利用喚起 ・利用が少ない区間のサービス向上、利用喚起
3	犀潟駅線		
4	柳町線		
5	くびき駅線		
6	市営バス (大池線)		
7	森本線	・午前は高齢者の利用あり ・明治小学校の児童が下校時に利用	・ダイヤ変更、減便

■地域住民の意見

No.	路線	地域住民の意見	
		利用者の意見 (乗降調査)	住民の意見 (聞き取り調査)
1	南川線	・三ツ屋経由の要望 (3人/238人)	・利用が少なく減便可 ・黒井駅線は通学利用があり廃止してもスクールバスが必要
2	黒井駅線	・意見なし(0人/88人)	・サロン参加者23人中6人がダイヤ改善を要望
3	犀潟駅線	・高齢者割引の要望 (1人/216人)	・買い物用乗合タクシーの要望
4	柳町線	・意見なし(0人/32人)	・直江津駅、上越病院等への直通バスの要望(2町内会) ・サロン参加者23人中5人がダイヤ改善、土日の増便を要望
5	くびき駅線	・意見なし(0人/50人)	・週1回の買い物バス、近隣町内での通院バス運行の意見
6	市営バス (大池線)	・意見なし(0人/90人)	・直江津駅、上越病院等への直通バスの要望(4町内会) ・サロン参加者12人中6人がダイヤ改善、5人が乗換負担の改善を要望
7	森本線	・意見なし(0人/9人)	-

2 区全体の状況

■65歳以上の高齢者の移動先

	通院目的	買物目的
1位	区内 35.8%	三ツ屋周辺等 44.1%
2位	イオン・上越 病院周辺 30.7%	イオン・上越 病院周辺 19.9%
3位	直江津駅周辺 15.3%	大潟区 14.7%

※パーセンテージは、当該行先を回答した町内会の割合

(参考) 地域の送迎サービス

No.	名称	運行主体	区間	運行日
1	スクールバス	市	南川小・大瀬小学校区域	平日
2	通院送迎	高野循環器内科クリニック	頸城区周辺～病院	平日、土曜日
3	通院送迎	山田クリニック (内科等)	頸城区周辺～病院	平日、土曜日
4	サロン送迎	頸城振興会	頸城区～希望館	月9回
5	出前サロン送迎	頸城振興会	玄増・大蒲生田・坂田・西福島二区・下吉地区周辺	月1回～年2回

■高校生アンケート

ルート	・南高田駅から高田高校までのバスがほしい。(1人)
本数	・春日山駅から富岡方面のバスの本数を増やしてほしい。(2人) ・黒井駅からのバスの本数を増やしてほしい。(1人) ・南川線の7時台、13時台などの本数を増やしてほしい。(2人) ・本数を増やしてほしい。(1人)
周知	・バスはダイヤが分からないのでアプリで調べられるとよい。(1人)
鉄道	・下校の際の直江津行きの電車が混んでいるので車両を増やしてほしい。(3人) ・本数が少ない。12時台、15時台の電車がなくて困る。(2人) ・ほくほく線の運賃が高い。(2人)

■聞き取り調査の状況

実施内容	実施状況	結果
町内会長への聞き取り	55人	・特に明治地区で意見が多く、直江津、高田、上越病院方面への直通便の希望が複数あり
民生委員への聞き取り	18人	・バスを利用できず困っている人がいると回答した民生委員は5人、理由は乗継の負担、ダイヤ、ステップの高さ、バス停までの距離であった。
サロンでの聞き取り	58人	・約5割が送迎、約4割が自家用車で移動 ・移動に困っていると答えた10人中6人は将来的な不安が理由
免許返納者への聞き取り	1人	・家族の送迎により移動 ・将来送迎してもらえなくなるかもしれないとの意見
合計	132人	-

地域別公共交通の再編の方向性（頸城区）

再編2 住民のニーズに適した交通形態の検討

・区内のバス路線について、住民のニーズを調査し、ニーズに適した交通形態を検討する。

再編1 路線重複の解消、効率化

- ・南川線（島田経由、市村経由）、黒井駅線の重複の解消により、運行を効率化
- ・黒井駅、三ツ屋経由等のルート変更により、利便性を向上



地域別公共交通の再編の方向性（吉川区）

1 各路線の評価

(1) 路線の存続・運行主体の方向性（収支状況）

No.	路線	区分	収支等の状況(H30決算)							再編の考え方①				
			経常費用 (千円)	経常収益 (千円)	経常欠損 (千円)	収支率	国県補助 (千円)	市補助 (千円)	年間利用 者数 (人)	市補助/ 利用者1 人(円)	1便当たり 利用者数 (人)	平均乗 車密度	区分	内容
1	吉川西部循環線	支線	14,941	5,728	9,213	38.3%	3,004	6,208	38,038	163	17.9	1.8 6.4	IV現状維持	・上下浜駅経由、くびき駅経由の一部重複について、減便により解消を検討
2	山直海線	幹線 支線	30,846	7,566	23,279	24.5%	1,122	22,156	47,707	464	9.5	1.6 2.1	IV現状維持	・「現状維持」ではあるが、長大路線であり、幹線と支線の分割を検討 ・幹線の短縮、減便、ダイヤ変更による効率性の向上を検討 ・支線は、乗合タクシー等への転換による効率化を検討
3	泉谷・勝穂循環線	支線	11,482	1,509	9,973	13.1%	1,047	8,925	18,766	476	10.2	0.0 1.4	IV現状維持	・利用の少ない便の減便、乗合タクシー等への転換により利便性の向上を検討
合計			57,268	14,803	42,465	25.8%	5,173	37,289	104,511	357	11.6	-		

(2) サービス（運行経路、ダイヤ等）の見直しの視点

■利用の実態

No.	路線	利用の傾向 (乗降調査) ※	利用の特徴 (乗降調査)	再編の考え方②	
				区分	内容
1	吉川西部循環線	A・B-ア	・朝、夕は吉川中の通学利用が主 ・朝、昼の事務所－中島南、事務所－坂田東は利用少	・利用が多い区間の維持 ・利用が少ない区間のルート見直し	・通学に必要な便を確保しつつ、ルート(回り方)の変更を検討
2	山直海線	B-ア	・吉川特別高等支援学校の通学利用が主 ・吉原－尾神の利用少	・幹線、支線の分割	・幹線は、短縮に伴い、利用の少ない時間帯の減便、ダイヤ変更による利便性と効率性の向上を検討 ・利用の少ない支線は、総合事務所を乗換拠点とし、乗合タクシー等への転換による効率性の向上を検討
3	泉谷・勝穂循環線	B・C-ア	・吉川中、吉川小の通学利用が主 ・泉－東寺は利用少 ・平等寺先回りは利用なし	・利用の少ない時間帯の減便	・利用のない平等寺先回りの減便による効率性の向上を検討

■地域住民の意見

No.	路線	地域住民の意見		再編の考え方③
		利用者の意見 (乗降調査)	住民の意見 (聞き取り調査)	
1	吉川西部循環線	意見なし(0人/98人)	・免許返納者からドアツードアの要望あり(3人/3人) ・バスを利用しない理由として、サロン参加者12人中1人が乗継(くびき駅へ行けない)、2人がバス停までの距離と回答	・中学生の通学利用が多く、乗合タクシーの対応は難しい ・ルート(回り方)の変更を検討
3	山直海線	意見なし(0人/205人)	・町内会長への聞き取りから、空白地に該当する地域(道之下)からバスを通してほしいとの要望や、バス停までの移送手段の要望(米山)あり ・免許返納者から、ドアツードアの要望あり(3人/4人) ・バスを利用しない理由として、サロン参加者10人中5人がバス停までの距離と回答	・支線部を乗合タクシー等に転換することにより、空白地乗り入れやドアツードアを検討
5	泉谷・勝穂循環線	意見なし(0人/42人)	・免許返納者からドアツードアの要望あり(4人/4人) ・サロン参加者7人中2人が乗継の意見、1人が車両のステップについて意見	・乗合タクシー等の運行形態への転換により、空白地乗り入れやドアツードアを検討

2 区全体の状況

■65歳以上の高齢者の移動先

	通院目的	買物目的
1位	区内 61.3%	柿崎区 38.0%
2位	柿崎区 24.0%	浦川原区 21.3%
3位	イオン・上越 病院周辺 6.0%	大潟区 15.3%

※パーセンテージは、当該行先を回答した町内会の割合

(参考) 地域の送迎サービス

No.	名称	運行主体	区間	運行日
1	スクールバス	市	吉川小学校区	平日
2	地域バス	市	村屋、川谷地区、尾神、大賀～診療所、小学校	平日
3	サロン送迎	まちづくり吉川	吉川区内～〇〇	週4回(月・水・金・土)
4	おらっりのつどい (不定期サロン)送迎	まちづくり吉川	吉川区内～〇〇	年5回程度
5	内山医院	内山医院	不特定	平日

■高校生アンケート

ダイヤ	・山直海線の本数を増やしてほしい。本数が少ない。(2人) ・夏時間と冬時間に関係なく17時台の便がほしい。(1人) ・乗継に時間がかかる。(1人)
運賃	・無料化希望。(1人)
鉄道	・テスト期間等の下校時間の車両を増やしてほしい。(2人)

■聞き取り調査の状況

実施内容	実施状況	結果
町内会長への聞き取り	52人	・空白地から路線バスの町内乗り入れ(道之下)や、路線バスのバス停までの移送手段(米山)などの要望あり
民生委員への聞き取り	11人	・自動車を運転できない世帯の5割が「家族、知人からの送迎」で移動 ・バス停まで遠く高齢者が歩けない、ドアツードアの導入といった要望あり(4人)
サロンでの聞き取り	30人	・7割が家族の送迎で移動 ・バスを利用しない理由は乗継3人、バス停までの距離7人、ダイヤ5人、ステップ3人と回答があった。
免許返納者への聞き取り	11人	・9割が家族、近所の送迎で移動 ・7人が困っていると回答しており、バス停まで歩けない、時間に制限があるため利用しづらいという意見だった。
合計	104人	—

3 再編の方向性（案）

No.	路線名	区分	再編の方向性
1	吉川西部循環線	支線	・通学に必要な便を確保しつつ、両回りで重複する時間帯の重複解消を検討し効率性を向上
2	山直海線	幹線	・柿崎駅－吉川区総合事務所前までに短縮、利用の少ない時間帯のダイヤ変更を検討し、利便性と効率性を向上
		支線	・総合事務所を乗換拠点とし、区内に乗合タクシーを導入することにより利便性と効率性を向上 ・高齢者が利用しやすいよう、ダイヤやルートの改善を検討し、利便性を向上
3	泉谷・勝穂循環線	支線	・平等寺先回りの減便、乗合タクシー等への転換により利便性を向上 ・高齢者が利用しやすいよう、ダイヤやルートの改善を図る

※幹線と支線の乗換拠点は吉川区総合事務所前

地域別公共交通の再編の方向性（吉川区）

再編3 吉川西部循環線のダイヤ改善

- ・くびき駅経由と上下浜駅経由の各系統が、朝の通学の時間帯に同時に運行しているため、減便を検討。
- ・現状調査を踏まえてダイヤ改善を図ることで、利便性を向上。

再編1 泉谷・勝穂循環線の減便、乗合タクシー等への転換

- ・利用がほとんどない「平等寺先回り」の便を減便。
- ・今後、バス通学の小中学生が少なくなったときは、スクールバスと路線バスの一本化（スクールバス混乗）や、1便当たりの利用者数が1.0人以上となることを条件に、乗合タクシーへの転換を検討。
- ・乗合タクシーへ転換する場合は、より自宅に近い場所での乗降を可能にすることや、利用しやすいダイヤ設定、現在のバス路線から離れている集落にも延伸することなどを検討し、一般の利用者の利便性向上を図る。



再編2 山直海線を幹線・支線に分割、乗合タクシー等の導入

- ・利用の少ない便の減便を検討。
- ・路線を総合事務所前で幹線・支線に分割することを検討。
- ・支線（総合事務所前～村屋・尾神）について、今後、バス通学の小中学生が少なくなったときは、スクールバスと路線バスの一本化（スクールバス混乗）や、1便当たりの利用者数が1.0人以上となることを条件に、乗合タクシーへの転換を検討。
- ・乗合タクシーへ転換する場合は、より自宅に近い場所での乗降を可能にすることや、利用しやすいダイヤ設定、現在のバス路線から離れている集落にも延伸することなどを検討し、一般の利用者の利便性向上を図る。

地域別公共交通の再編の方向性（中郷区）

1 各路線の評価

(1) 路線の存続・運行主体の方向性（収支状況）

No.	路線	区分	収支等の状況(H30決算)							再編の考え方①			
			経常費用(千円)	経常収益(千円)	経常欠損(千円)	収支率	国県補助(千円)	市補助(千円)	年間利用者数(人)	市補助/利用者1人(円)	1便当たり利用者数(人)	平均乗車密度	区分
1	岡沢ルート	支線	4,996	965	4,032	19.3%	1,526	1,751	4,421	396	1.8	II 運行形態の転換等	・高齢者の需要を踏まえ、定時便化、ダイヤ調整、ルートや停留所の見直しによる利便性の向上により、利用者の増加、収支改善を検討
2	関山ルート	支線	5,688	989	4,699	17.4%	1,791	1,409	4,141	340	2.1		
合計			10,684	1,954	8,730	18.3%	3,317	3,160	8,562	369	1.9		

(2) サービス（運行経路、ダイヤ等）の見直しの視点

■利用の実態

No.	路線	利用の傾向(乗降調査)※	利用の特徴(乗降調査)	利用の実態	
				区分	内容
1	岡沢ルート	A・B-ア	・朝は通学利用が主、昼は通院利用が主 ・夕は利用が少ない ・定路線外の停留所の利用少	・利用が多い時間帯の定時便化 ・利用が少ない時間帯のダイヤ変更、利用喚起 ・利用が少ない区間のルート見直し ・利用が多い目的のための改善	・デマンド便は、運行経路を見直した上で、定時路線化を検討 ・ダイヤは、高齢者の通院利用に合わせ、午前中心にシフト ・停留所は、現状を基本としつつ若干の見直し(新設又は移設等)を行い、利便性を向上
2	関山ルート	A・B-イ	・朝、昼は通院利用が主 ・夕は通学利用が主 ・定路線外の停留所の利用少		

■地域住民の意見

No.	路線	地域住民の意見		再編の考え方③
		利用者の意見(乗降調査)	住民の意見(聞き取り調査)	
1	岡沢ルート	・意見なし(0人/49人)	・デマンド予約が面倒、通院からの帰宅時の利用が不便(サロン、集落カルテ、高齢者の聞き取りにより35人から意見)	・デマンド便の予約が負担という声は圧倒的に多いことから、定時便化を検討し、予約の負担を解消することで潜在的利用者の利用につなげる。 ・通院や買い物需要に対応する経路や停留所の見直しを行い利用者の一層の促進を図る。
2	関山ルート	・意見なし(0人/29人)	・新井駅周辺の医療機関近くへの停留所の新設(高齢者への聞き取りにより55人中6人)	

2 区全体の状況

■65歳以上の高齢者の移動先（参考）地域の送迎サービス

No.	通院目的		買物目的		No.	名称	運行主体	区間	運行日
	妙高市	妙高市	区内	イオン・上越病院周辺					
1位	46.7%	65.5%	32.2%	12.6%	2	岡沢買い物ツアー	岡沢老人クラブ松寿会	西部地区~パロー	月2回(5月~11月)
2位			13.3%	11.5%	3	住民福祉会事業お買い物ツアー	NPO法人中郷区まちづくり振興会	中郷区~妙高市内又は上越市内	年4回
3位					4	サロン送迎	NPO法人中郷区まちづくり振興会	中郷区内全域	週2回(月、金)
					5	出前サロン送迎	NPO法人中郷区まちづくり振興会	中郷区内全域	週1回(木)

※パーセンテージは、当該先を回答した町内会の割合

■高校生アンケート

運賃	・運賃が高い。(1人) ・冬もバス乗車体験キャンペーンを実施してほしい。
鉄道	・昼の時間帯の本数が少ない。土日やテスト期間の本数を増やしてほしい。(1人)

■聞き取り調査の状況

実施内容	実施状況	結果
町内会長への聞き取り	24人	・14町内会から乗合タクシーの維持、利便性向上の要望 ・2町内会から全便定時便化の要望
民生委員への聞き取り	14人	・1人から高齢者の利用を考え、家の近くで乗れるようにしてほしいとの要望
サロンでの聞き取り	59人	・59人中43人がほとんど利用しないと回答 ・乗合タクシー利用者16人中5人はデマンド予約が面倒なため、定時便化を要望
戸別訪問	55人	・意見要望回答者34人中、20人がデマンド予約が面倒と回答
合計	152人	—

3 再編の方向性（案）

No.	路線名	区分	再編の方向性
1	岡沢ルート	支線	・高齢者の通院利用の利便性を向上し、通院利用に合わせた午前中中心のダイヤ設定、ルート、停留所の見直し(医療機関付近への位置変更等)を検討 ・通院利用が想定される一部のデマンド便について、条件付きで定時便化を検討し、予約の負担を軽減(例:1便当たりの利用者数が1人を下回った場合は、減便を検討等) ・以上により、利用者の増加、収支改善を検討
2	関山ルート	支線	

※幹線と支線の乗換拠点は新井バスターミナル

地域別公共交通の再編の方向性（中郷区）

乗合タクシーの定時便化、利便性向上

- ・現状を基本としつつ、新井駅周辺で停留所までの距離が離れている一部医療機関があることから、バス停の追加又は移設等を行い、高齢者の通院に係る利便性を向上
- ・一部デマンド便の定時便化を検討することにより、予約の負担の解消

